

今治の在住外国人人数

タオルと造船の町、今治市。外国人研修生受入れ特区であった今治市では、企業が研修生を広く受け入れてきましたが、現在は多くの技能実習生、そして特定技能生が造船



今治市の外国人登録者数

関係、タオル関係をはじめとする様々な企業で働いています。人口約15万人弱のうち4300人が外国籍住民、つまり今治市民の100人に3人は外国人です。

今治市国際交流協会設立の経緯と事業内容

今治市国際交流協会は平成9年、姉妹都市の米国レイクランド市との交流など、市民の草の根交流の推進を目的として設立されました。当初より姉妹都市交流活動や外国語講座、交流イベントを実施するほかにも、在住外国人の生活支援を行ってきました。

現在でもレイクランド市との交流事業は活動の大きな柱です。3年に1度、相互に訪問団を送り、10日間ほどホームステイをします。市内の一般家庭がゲストを無償で受け入れてきた本場の草の根交流で、来年は30周年を迎えます。



お祭りの踊り連に参加し入賞、訪問団+在住外国人+日本人



BBQ 交流会でハンカチ落とし

語学講座、交流イベントは毎年実施しており、英語、中国語、韓国語に加えて、市民のリクエストに応じてベトナム語、イタリア語、ロシア語なども講座を設けたことがあります。交流イベントは運営ボランティアのご協力を得て年に4回実施、日本人市民と外国人市民がともに楽しく活動できる場を提供しています。

外国人の相談先、情報の取得

今治市の在住外国人は設立時の約500人から現在4300人に増加、生活支援業務の重要性も増してきました。令和2年、今治市の委託を受けて外国人相談窓口を設置しましたが、生活支援の業務量が9倍ということ



スピーチコンテスト技能実習の部 優勝者インドネシア人



ベトナム料理教室

ありませんし、相談内容も少しずつ変化しています。

設立当初、在住外国人がインターネットから得られる情報も限られたものでしたが、最近では在住外国人がインターネットで情報を共有し、企業、行政も多言語で情報を発信するよう努めてきたため、生活に必要な情報を母語で得られることも増えてきました。

SNSを介して地域の同国人とつながることが容易なため、コミュニケーションが以前より早く形成され、そのなかで助け合いも行われています。

また、今治では在住外国人の大部分を占めるのが技能実習、特定活動で来日している方で、彼らの生活支援は基本的には監理団体や所属企業が担っています。

外国人相談窓口に寄せられる相談内容

そのため協会には、インターネットの情報や同国人同士の助け合いでは解決が難しかったり、監理団体や会社の支援の守備範囲内ではない内容の相談が多く寄せられています。

例えば、ダンスチームに参加したい、というものから、組合、会社に支援を頼めない深刻な問題まで様々です。外国人のみならず日本人からの相談も受け付けており、協会職員



日本語グループレッスン

が直接お手伝いして解決することもあります。が、専門知識が必要な相談内容であれば、適切な機関を探して引き継いだり、付き添ったり、代わりに相談したりします。

こうしたなかで一番多いのは言葉に関する相談です。病院に付き添ってほしい、申請書類の記入を手伝ってほしい、というような翻訳や通訳の依頼もありますが、特に目立つのが日本語学習をサポートしてほしいという相談です。そうした依頼、相談があるときは、協会のマンツーマンレッスンやグループレッスンをご案内しています。

日本語学習支援

マンツーマンレッスンは、1対1で自分のペースに合わせて学習できるのが魅力です。週末のグループレッスンは、平日お仕事をしている方の貴重な学習の機会として喜ばれています。定期的に顔を合わせているうちに仲良くなつて、おやつを交換したり、一緒にどこかに出かけたりと、日本語学習の場以外でのお付き合いを楽しまれている方もいます。

また、日本人ボランティアに日常のちょっとしたことで頼る外国人の方も多いため、協会の相談業務を考えると、職員が直接受けるよりずっと多くの相談が寄せ



日本語マンツーマンの様子①

られていると思われます。

こうした日本語学習支援の活動を担うのが、ボランティアの皆さんです。それぞれ希望される支援の形や生活スタイルに合わせて、気持ちよく楽しく活動していただけるよう、丁寧にお話をうかがってコーディネートしていきたいと考えていますが、いま、外国人から寄せられる学習希望の数に比べて、ボランティアスタッフが不足気味なのが悩みのたねです。

協会の活用

今治市国際交流協会は、講座やイベントを通じて多くの市民の皆さんに関わっていただきたいと考えています。最終的にボランティアとして活動に協力してくだされば助かりますが、そうでなくても、外国の文化について知識を得たり、体験したりすることから、身近に住んでいる外国人の皆さんの持つ文化背景に関心を持っていただけなのではないかと思っています。そもそも新しいこと、知らないことを学習、体験するのは単純に楽しいですよね。楽しみながら自分の世界を広げる場として、協会を活用してくださると嬉しいです。



日本語マンツーマンの様子②